



指導者用デジタル教科書

インストール版 / Web版

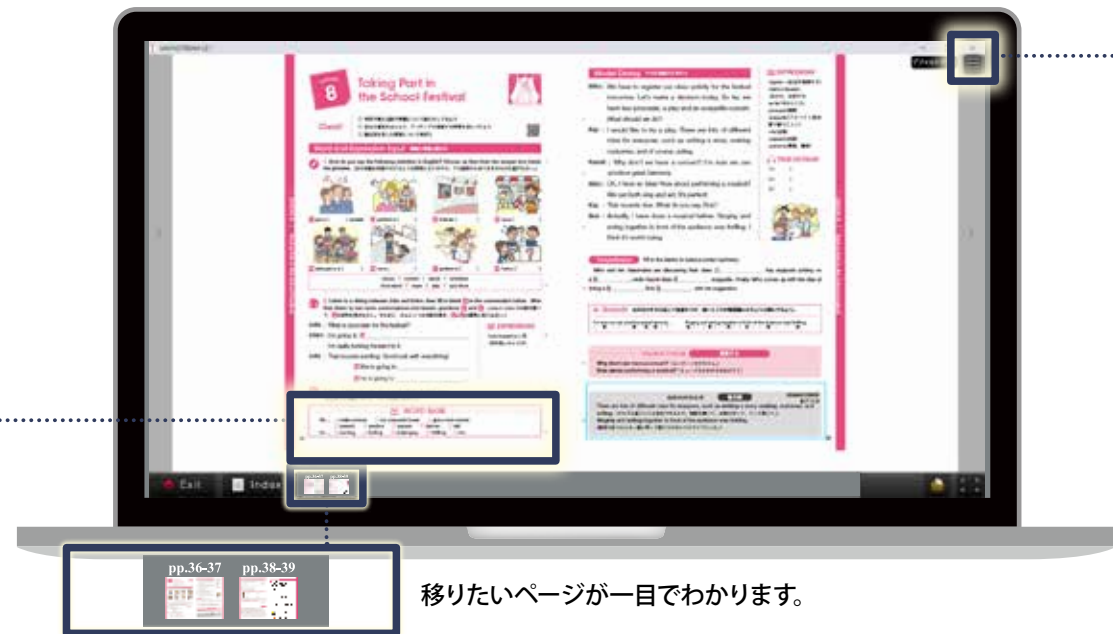
初めて利用される方でも容易に使える操作性を重視しました。Webブラウザ対応なので、PCでもiPadでも使用可能です。ここでは、主な機能をご紹介します。

I II : 本体 50,000 円 (税別)
定価 55,000 円 (税込)
※ インストール版 (フリーライセンス)
対応 OS : Windows10, 11
※ Web版推奨ブラウザ : Google Chrome, Safari
Web版使用時はインターネット環境が必要です。

教科書見開き画面

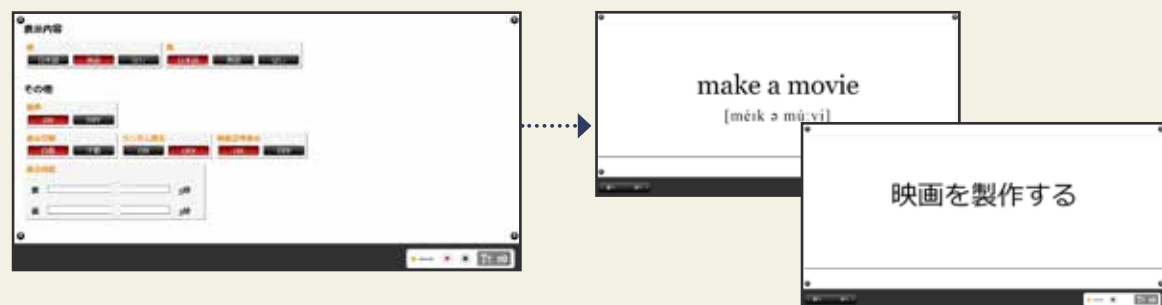
本文や単語などをクリックすると、それぞれの画面へ移ります。

※画面は MAINSTREAM English Logic and Expression I のものになります。



フラッシュカード

単語を効率よく学習するためのモードです。表示時間やランダム再生、発音記号表示など、生徒のレベルに合わせて様々なモードをご利用いただけます。



全画面表示モードに切り替わります。
※インストール版のみ

- ペン機能**
ONを選択することで、本文拡大画面のペン機能と同じように、教科書の見開き画面上でも文字を書くことができます。
※機能の詳細は p.95
- 付箋機能**
付箋を置いて文字を隠したり、付箋にテキストで文字入力したりすることができます。
※機能の詳細は p.96
- ストップウォッチ・タイマー機能**
速読用の時間計測に使えるストップウォッチやタイマーを用意しました。
- ファイル配置機能** ※ PCでの使用にのみ
指導書付属ROMに収録されているファイルや、自作のPower Pointファイルなどのリンクを配置して、授業中にワンクリックで呼び出すことができます。
- 拡大縮小機能**
お使いのコンピュータのモニターサイズや画面解像度に合わせて拡大縮小ができます。
- 英文法参照機能**
高校で習う英文法の詳しい解説が参照できます。
※機能の詳細は p.96
- リンク機能** ※インターネット環境が必要です
あらかじめURLを登録しておくことで、授業中にすぐさま参照したいWebサイトへアクセスすることができるようになります。
- Flash Card**
各レッスン、パートの新出語を選択できたり、Excelデータ(CSVファイル)を用いて、自作のフラッシュカードを作ることも可能です。

クリックするとフラッシュカード、リンク、英文法参照機能が選択できるようになります。

読む・ペンモードは次へ▶

本文（読むモード）

単語・熟語

記号をクリックすると、和訳、例文、解説などが表示されます。例文の音声もあります。

	make a decision
意味	決める、決定する
例文	We will make a decision regarding that matter. 私たちはその件に関して決定する。
解説	make a big decisionのように名詞decisionを修飾する形容詞と共に、様々な意味で用いられる。

Miho: We have to register our class activity for the festival tomorrow. Let's make a decision today. So far, we have two proposals, a play and an acappella concert. What should we do?

Kay: I would like to try a play. There are lots of different roles

カラオケ/ハイド

音声に合わせて本文の文字の色が変わります。生徒が文字を目で追いかけるようになるので、より英文と音声に集中させることができます。

- Karaoke: 読まれている文を赤字で追いかけて表示します。
- Hide: 読まれた単語を追いかけて消していきます。

●カラオケ 赤字

※文字を赤字で追いかけて表示します

ツール

- 読むモードとペンモードの切り替えボタン
- 読み上げの設定
- 一文ごとの再生（一文読み）
- 全文再生（全文読み）
- 一文ごとにポーズを入れての再生（ポーズ読み）
- 特定のキャラクターのセリフのみ再生（ロールプレイ読み）
- ※音量とスピードも調節可能です。

●ハイド 文字消し

※文字が消えていきます

本文（ペンモード）

ペンモードは、本文中に品詞や節といった文の構造の説明に使うことができる画面です。文中にはスタンプ機能を使いながら、構造の説明をすることができます。本文解説をする上で、大きな画面を用いて明示的に説明が行えます。

ペン・消しゴム機能

ふつうの黒板と同じような感覚で板書が可能です。ペンの太さや色も変更が可能です。強調箇所などを示すのに役立ちます。消しゴム機能も「部分的に消す」か「全てを消す」かを選択できます。

アンドウ機能

クリックすると、1つ前の作業に戻ります。

文字サイズ・行間調整

文字サイズ・本文の行間をそれぞれ±5段階で調整することができます。

表示/非表示

メニューの表示/非表示が切り替えられます。

スタンプ機能

クリック1つで文法事項を示す便利なスタンプ機能もあります。スタンプでは、主語や動詞といった主要素、品詞、句や節を示すことができます。



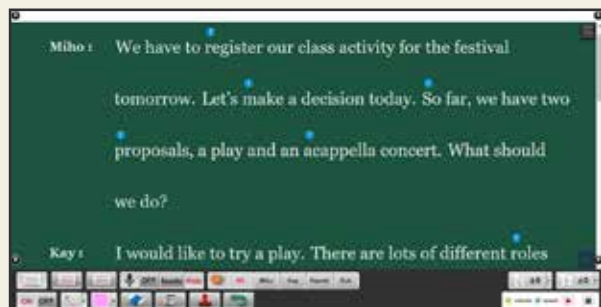
上記の機能を使えば…

1 / I am (a brain surgeon). I am always thinking about

S V C S V

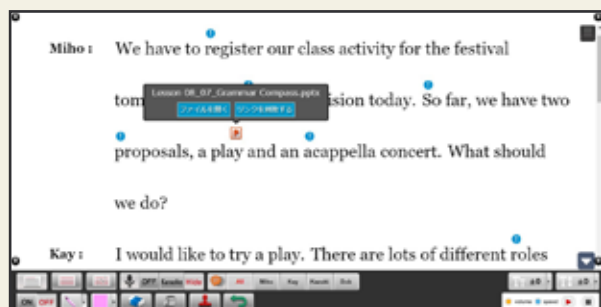
板書のように本文の構造を示すことができます！

機能一覧



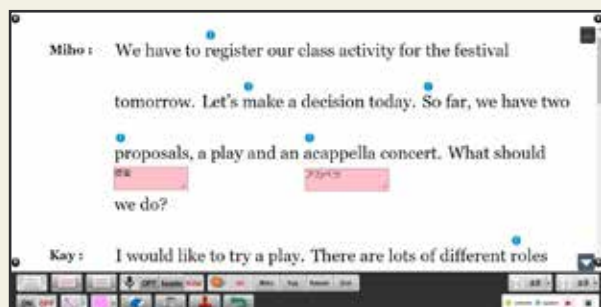
黒板機能

機能を ON にすることで、黒板に英文が投影されたような画面に切り替わります。プロジェクターを通すと実際の黒板に白い文字だけが投影されるので、英文を説明する際は、黒板に直接書き込みすることも可能です。



ファイル配置

本文中に関連する内容のファイルをリンク付けできる機能です。ファイル配置機能を用いて、授業準備を入念に行うことができます。



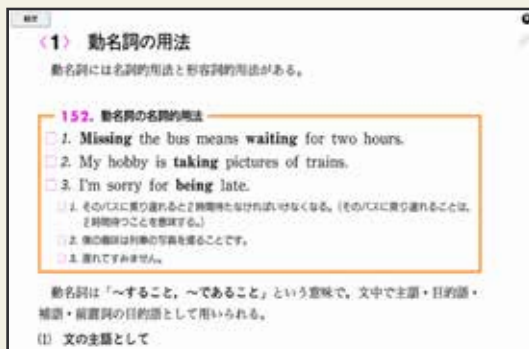
付箋機能

授業準備で、生徒に補足して伝えたい内容を追加したり、付箋で英字を隠して音読の練習をさせるなど、さまざまな用途で使用できます。



入力機能

メモパットを使って文字を入力することができます。生徒自身に解答を入力させたり、入力した情報を共有し合うこともできます。



英文法参照機能

高校で習う英文法の詳しい解説を収録した文法書(450ページ)を参照できます。解説ページ上では、該当の文法内容の解説に加えて、例文や問題も含まれております。

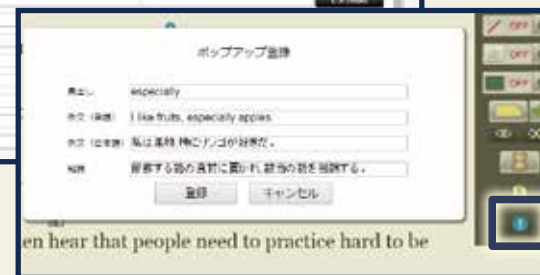
クラス別保存機能

クラスによって進度が異なることや、途中で終わることに対応し、進捗ごとに保存できる機能を設けました。トップ画面から、保存した任意のクラスで開始することで、前回入力した内容やマーカーなどが保存された状態から再現できます。



自作機能

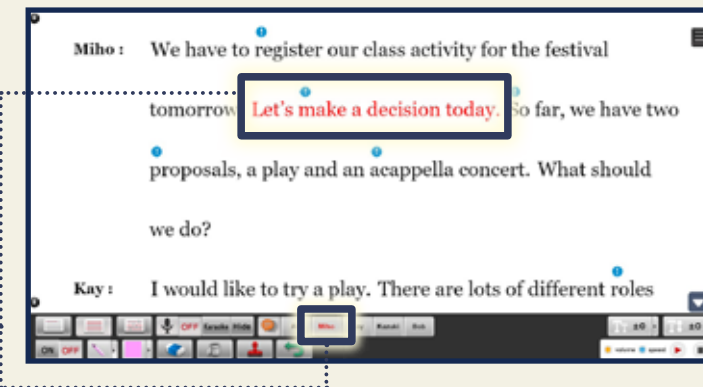
もともと入っているフラッシュカード、熟語のポップアップとは別に自作が可能です。



自作のフラッシュカードやポップアップを作成することで、授業中に生徒へ復習として尋ねるなど、確認を行うことができます。

ロールプレイ読み

モデルダイアログの中で、選択したキャラクターのパートのみの音声流れます。読まれないキャラクターの音声を生徒が音読することで、ロールプレイ形式で音読のトレーニングに取り組むことができます。



選択したキャラクターのスク립トの色が変化します。